

中学生の英語力 アップについて



大豆生田 春美 議員

質問…今年度新たな研究授業等の予定はあるか伺いたい。

答弁…平成28年度英語教育に関し新たに2つの事業実施を予定しています。まず1つ目は、イングリッシュデーの実施です。小学6年生の希望者を対象に市内の施設を利用した日帰りのプログラムを計画しています。ALTが準備したコミュニケーション、国際理解、スポーツな

ど幾つかの活動プログラムを英語だけでコミュニケーションしながら楽しく体験する内容を予定しています。2つ目は、小中学校におけるALTスペシャルデーの実施です。本市で採用しているALT8名全員が1つの学校に集まり、児童生徒と触れ合う時間を提供しています。普段子どもたちが接するALTは特定の1名ですが、この特別訪

問の日は国籍や性別の違う8名のALTと授業をしたり一緒に給食を食べたり休み時間に遊ぶことができます。児童一人ひとりが外国人とコミュニケーションする経験を積むことでコミュニケーション力や国際理解の素地が養われ、将来世界で活躍できるグローバル人材の基盤づくりに繋がると期待しています。

一般質問



滝田 一郎 議員

在宅介護が困難な 方への施設サービス 提供について

質問…介護認定者の増加に定員の伸びが追いつけず倍近い人が居住系サービスを受けられなくなる。施設の待機状況について。

答弁…現在22施設で定員696人、待機状況は申込み数が472件ですが実数とは異なります。

質問…施設サービス提供は喫緊の課題と考えるが対策について。

答弁…問題解消のため介護老人福祉施設を29床、来年4月開所

に向け事業を進めています。

質問…栃木県で一番高い本市の介護保険料を次期でどうするか。引き続き高い認定率と施設サービス基盤の充実か。一方でこれ以上の保険料の増額に高齢者は耐えられるのかについて。

答弁…高齢者の負担を大きくせず満足のいくサービスを提供できる政策を考えていきます。

質問…今後の居住系増床は既存

施設の定員増が効率的といった考え方について。

答弁…十分検討してまいります。

質問…ショートステイの稼働率が低いとすれば定員枠の一部を居住系へ振り向けてはと考える。現在の稼働率について。

答弁…6月1日現在、定員は197名、利用者は127名で利用率64・47%です。